



# 六小だより

— 花と緑の学校 —

六小・ホームページ <http://6s.hyama.andteacher.jp>

令和 8 年 4 月 7 日  
第 1 号  
東大和市立第六小学校  
校長 飯塚 庫健  
TEL 042 (562) 1158

## 子供と大人の笑顔があふれる、地域から愛される学校

### ～子供たちのウェルビーイングの向上を目指して～

校長 飯塚 庫健

穏やかな春の陽の中、令和 8 年度が始まりました。新 1 年生 39 名の入学と合わせ、319 名の子どもたちの学校生活が始まります。

教室や校庭に子供と大人の笑顔があふれる、地域から愛される学校を目指し、新たな気持ちで前進します。



令和 8 年度、本市においてウェルビーイング向上に向けては、3 年目となる年です。本校においても、2 年間にわたり研究をしてきた体育健康教育の学びを深め、さらに一人一人のウェルビーイングが高められるような学校づくりを目指していきます。

また、子どもたち一人一人のウェルビーイングを高めるためのキーワードとして、「かかわり」を重視していきます。

子ども同士のかかわり、大人同士のかかわり、子供と教職員とのかかわり、保護者や地域の方々とのかかわりを通して、子どもたち一人一人のウェルビーイングの向上を目指します。



～～ウェルビーイングとは～～

身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、多様な個人それぞれが幸せや生きがいを感じるとともに、個人を取り巻く場や地域、社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態にあること。(東大和市教育に関する大綱より抜粋)

ウェルビーイングについて前述しましたが、幸せについては、人それぞれ感じ方が違います。だからこそ、未来に生きる子どもたちに身に付けてほしい育てたい力として、自分なりによりよく生きていこうとする力が求められるのだと考えます。

そして、子どもたちのウェルビーイングを高めるためには、やはり、私たち大人が元気であること、心身共に健康で笑顔でいられる環境、つまり学校全体のウェルビーイングが求められているのだと感じています。

子ども同士のかかわりや私たち教師をはじめとした大人と子どもとのかかわり、それらのかかわりを通じた中心で育まれていく営みが、子どもを中心として、家庭や地域、社会へと広がり、その広がりが循環となって子どもたち一人一人のウェルビーイングが高められていくと考えます。



子どもはもちろんのこと、そこに関わる全ての大人も一人一人かけがえない存在です。お互いを尊重し合い、かかわり合い、協働して物事を成し遂げていく過程を大事にしています。

「チーム六小」新たに仲間となった全ての教職員が一丸となって教育活動を進めてまいります。

今年度も、学校の教育活動にご理解ご支援の程、どうぞよろしくお願いたします。